



人の力を活かす

地域で育む防災・防犯

しがっこガイド



Mother
Lake

滋賀県

はじめに

2011年は、我が国の観測史上最大規模となるマグニチュード9.0を記録した東北地方太平洋沖地震による東日本大震災をはじめ、多くの自然災害に見舞われた年でした。

特に、東日本大震災では巨大な津波が発生し、東北・関東地方の太平洋沿岸を中心に多くの人命を奪うとともに、広範囲にわたる甚大な被害をもたらしました。

一方で県内の犯罪情勢に目を移すと、平成23年中の刑法犯の認知件数は13,762件となり前年と比べて減少しましたが、今後も経済状況や社会構造の変化により犯罪件数の増加が懸念されるところです。

こうした災害や犯罪に立ち向かい、安全・安心なまちづくりを進めるには、防災・防犯活動の要となる地域住民の力が必要です。防災も防犯も現場では同じ人が活躍されていることが多く、また、子どもの頃から「自らの身は自らで守る」という意識を持ち、防災・防犯に関する理念と規範意識を育てていくことが大切です。

そこで滋賀県では、地域の防災・防犯活動の次代の担い手を育てる一助とするため、小学校教員を対象に、防災と防犯の学習メニューをセットにした「地域で育む防災・防犯しがっこガイド」を作成いたしました。このガイドには学習を行うための基礎的知識、授業中における指導のポイント、家庭への持ち帰りポイント、関係機関との連携といった内容が盛り込まれています。

岩手県釜石市で、東北地方太平洋沖地震による大津波から児童・生徒約3,000人の命を守ったのは、「自らの命は自らで守る」ことを実践した子ども達自身の力でした。地域で取り組まれてきた防災教育により、「想定にとらわれるな」、「その状況下での最善を尽くせ」、「率先避難者たれ」という「避難三原則」が子ども達の中にしっかりと定着していたのです。子ども達が生き延びることは、親にとっても社会にとっても大きな幸せであり、未来への希望でもあります。

この「釜石の奇跡」を大切な教訓として、本県の防災・防犯教育にしっかりと生かしていただきますとともに、本ガイドを御活用いただき、子ども達の命を守ることに結びつく防災・防犯学習の取組みをさらに深めていただくことを期待しております。

結びに、本ガイドの発行にあたり、「滋賀県地域で育む防災・防犯学習支援検討委員会」の検討委員をはじめ、多くの関係機関の皆さんから貴重な助言や資料提供などの御協力をいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。引き続き、本県における防災・防犯学習にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年（2012年）3月

滋賀県知事 嘉田由紀子

使い方 このガイドの読み方、使い方を説明します。

学習メニュー 防災と防犯に役立つ知識や教訓を学ぶことができます。

防災編 地震、水害、土砂災害などに関する防災の学習です。

1 地震の多い国 日本	防災-1
2 震度とマグニチュード	防災-5
3 グラツときたら…	防災-7
ー想像しよう、もし大きな地震に襲われたらー	
4 将来、滋賀県でも起きる確率が高い地震	防災-9
ー過去の大震災との比較ー	
5 活断層を学ぼう	防災-11
ー滋賀県の活断層ー	
6 ぼうさいダックで楽しく学ぼう	防災-13
7 消防職員・消防団員の仕事	防災-17
ー社会で働く人たちー	
8 避難訓練	防災-21
9 児童引渡し訓練	防災-23
ー大規模災害発生を想定ー	
10 消火器の取扱訓練	防災-27
11 煙体験と119番通報	防災-29
12 起震車体験	防災-31
ー地震の疑似体験をしようー	
13 安全な室内	防災-33
14 地震に強い家、弱い家	防災-37
ー筋交いを学ぼうー	
15 通学路のぼうさい探検隊	防災-39
ー地震ハザードマップを作ろうー	
16 校内安全ガリバーマップ作り	防災-43
17 クロスロードで考えてみよう	防災-47
ーもしも、いつもの道が…!?ー	
18 三日間生き抜くために	防災-49
ー「非常持ち出し袋」に必要な物ー	
ー「非常持ち出し袋」の中身の合計金額ー	
ー「非常持ち出し袋」の重さー	

19 我が家の防災会議	防災-53
ー大地震に備えている自信はありますか?ー	
20 防災かるた作り	防災-55
21 つながる	防災-59
ー過去の災害から学ぶことー	
22 命綱の結び方を身につけよう	防災-63
23 着衣泳	防災-65
24 水害に強くなるために	防災-69
ー自然観察ー	
ー川と地域の関わりー	
ー通学路の危険箇所調査ー	
ーR-DIG・ハザードマップの作成ー	
ー水害体験者の話を聞こうー	
25 土砂災害から身を守ろう	防災-75
ー砂防出前講座ー	



防犯編 不審者対応等に関する学習メニューです。

1 危険な遊び	防犯-1
2 お留守番	防犯-3
3 防犯教室	防犯-5
ーイカのおすしー	
4 誘拐されないための5つの約束	防犯-9
ー低学年用ー	
ー高学年用ー	
5 不審者対応訓練	防犯-13
ー怪しい人が学校に現れたら、どうしようー	
6 子ども110番の家	防犯-19
ー地域住民との交流ー	

取組事例 県内の取組みを紹介します。

- | | | |
|----------|--|-------|
| 1 | ぼうさいダックで学ぶ身のこなし
草津市立笠縫小学校 | 防災-15 |
| 2 | 児童引渡し訓練を実施しました
守山市立物部小学校 | 防災-25 |
| 3 | 防災学習をつなげて、
命の尊さと助け合う気持ちを育む
大津市立瀬田小学校 | 防災-61 |
| 4 | 着衣泳を学ぶことによる水難事故防止
愛荘町立愛知川東小学校 | 防災-67 |
| 5 | 校内における不審者対応訓練
大津市立堅田小学校 | 防犯-7 |
| 6 | 誘拐されないための防犯教室
大津市立南郷小学校 | 防犯-17 |

参考資料 連携機関の連絡先、県内の地震被害想定や事前の備えに役立つ情報です。

- | | | |
|-----------|---------------------|-------|
| 0 | 学習メニュー協力団体一覧 | 参考-1 |
| 1 | 地震のメカニズム | 参考-7 |
| 2 | 震度とマグニチュード | 参考-9 |
| 3 | 琵琶湖西岸断層帯 | 参考-11 |
| 4 | 地震災害の対処 | 参考-13 |
| 5 | 我が家の防災会議 | 参考-15 |
| 6 | 水害に備えよう | 参考-19 |
| 7 | 地先の安全度 ー生活の場の水害リスクー | 参考-21 |
| 8 | 水害から身を守る | 参考-23 |
| 9 | 土砂災害から身を守る | 参考-25 |
| 10 | 土砂災害に備えよう | 参考-27 |
| 11 | 火の用心 | 参考-29 |
| 12 | 自然災害体験施設の案内 | 参考-31 |

コラム 役立つ知識を掲載しています。

- | | | |
|----------|------------------|-------|
| 1 | 地震とプレートテクトニクス | 防災-3 |
| 2 | 地震・活断層と共に生きる | 防災-4 |
| 3 | 消防団とその活動 | 防災-18 |
| 4 | 100年前の姉川地震 | 防災-40 |
| 5 | 東日本大震災を振り返る 消防の巻 | 防災-77 |
| 6 | 滋賀県の犯罪 ー地域の防犯力ー | 防犯-10 |
| 7 | 滋賀県の犯罪 ー少年非行ー | 防犯-14 |
| 8 | 東日本大震災を振り返る 警察の巻 | 防犯-21 |



ガイドの読み方

学習の番号です。
番号の**青色**は**防災**、
赤色は**防犯**を表しています。

学習の題名と
イメージ図です。

- 1** 学習内容を分類しています。
一番上の絵：実施する教科の目安
真ん中の絵：学習の実施場所
一番下の絵：対象学年の目安
- 2** 学習の主なねらいです。授業の実施後に期待される効果などを記述しています。
- 3** 学習を実施するうえでの協力団体です。団体によって協力内容が異なります。参考資料の連絡先を確認し、直接団体と調整してください。
- 4** 学習時間の目安です。
- 5** 学習手順の一例です。学習の流れを確認してください。
- 6** 学習の流れにあわせて、指導のポイントを示しています。

- 7** あると便利な学習に役立つものです。中には、貸出が可能な物もあります。
- 8** 学習をさらに発展させたい場合などは、こちらのひと工夫をご覧ください。
- 9** 学習で得た防災・防犯の知識を家庭へ持ち帰ってもらう際の方法を示しているので参考にしてください。
- 10** 学習を行う上で知っておくと便利な予備知識です。
- 11** こちらの参考資料があると、学習に役立つでしょう。
- 12** 学習内容に関連する知識や情報などを記載しているので、参考にしてください。

学習メニューの組合せ例

1 広げてみよう

1つの学習から、様々な学習へ広げてみてください。より効果的に学べたり、面白い発見ができたり、役立つ防災・防犯の知識が増えるでしょう。

自分を守る	<p><主なねらい> 事前に作成した安全マップについて、通学路の危険性をさらに深く、幅広く考えることができます。</p>	 <p>防災17 クロスロードで考えてみよう</p>	友だちを守る	<p><主なねらい> マップ作りから学んだことを生かし、児童同士で校内安全を考えることができます。</p>	
	<p>防犯6 子ども110番の家</p> <p><主なねらい> 地域の人たちと交流を深め、地域で守られていることを知り、将来守る人間になることを目指します。</p>	 <p>防災15 通学路のぼうさい探検隊</p>		<p>防災16 校内安全 ガリバーマップ作り</p>	
地域で守る		 <p>防災19 我が家の防災会議</p>	<p><主なねらい> 作成したマップを基に、自宅周辺の避難経路や避難生活に必要な物資を家族と一緒に考えることができます。</p>	家族を守る	
紙ぶるる発表会	<p><主なねらい> 学習で学んだことを生かして、地震に強い家の重要性を他人に説明できるようにします。</p>	 <p>防災14 地震に強い家、弱い家</p>	<p>防災かるた大会</p> <p><主なねらい> 考案した防災標語を基にかるた大会を開催し、児童全員で標語の意味を身につけます。</p>		
	<p>防犯4 誘拐されないための5つの約束</p> <p><主なねらい> 身につけた5つの約束を使った寸劇を行うなど、自分たちでできる不審者対応を児童同士で考えることができます。</p>	 <p>発表会</p>		<p>防災20 防災かるた作り</p>	
不審者対策発表会		 <p>防災24 水害に強くなるために</p>	<p><主なねらい> 学んだ「河川の二つの側面」について、家族や下級生等に説明する力を養い、地域に水害対策を波及させることができます。</p>	川の学び発表会	

2 つなげてみよう

1つの学習の前後に別の学習を行うことで、児童の予習や復習になり、学習による相乗効果が期待できるでしょう。



防災7
消防職員・消防団員の仕事

+



防災21
つながる

=

<主なねらい>

被災地に出向いた消防職員・消防団員などの話を聞き、自分にできる共助を考えることができます。



防災18
三日間生き抜くために

+



防災19
我が家の防災会議

=

<主なねらい>

避難生活について家族と一緒に考え、実際に家から持ち出す品物や道具などの役割を話し合うことができます。



防災6
ぼうさいダックで楽しく学ぼう

+



防犯6
子ども110番の家

=

<主なねらい>

ぼうさいダックで学んだ挨拶から非常時の避難先である子ども110番の家との絆を深めることができます。



防犯5
不審者対応訓練

+



防災9
児童引渡し訓練

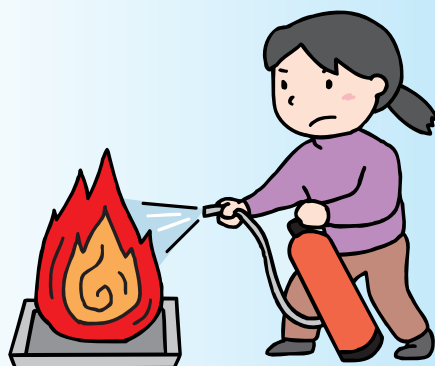
=

<主なねらい>

緊急事態を想定することで、学校と家族が一体となって、児童の安全を守る機運を高めることができます。

學習メニュー

防災編



防災編

防犯編

参考資料編



地震の多い国 日本



学習のねらい

日本が地震多発国であることを学ぶ。
生涯に遭遇する可能性の高い地震について学ぶ。



連携機関・ネットワーク

☆ 彦根地方気象台



防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

5分

1 地球の構造とプレート
地球の構造について教えましょう。

地震は、地球が活動している証であることを理解させましょう。

5分

2 プレート活動とプレート型地震の発生
プレートについて学び、プレート型地震のメカニズムを教えましょう。

地震の発生は、プレートの動きと密接な関係にあることを教えましょう。

5分

3 日本列島周辺のプレート
日本列島は4つのプレートに取り囲まれているため、地震が多いことを教えましょう。

直下型地震の原因となる活断層が日本列島には数多く存在していることを教えましょう。

15分

4 活断層型地震の発生
写真や絵を使い、プレート型の地震を比較させながら教えましょう。

先ほど学んだプレート型地震の復習になるよう児童に答えてもらいましょう。

10分

5 日本列島(近畿地方)に存在する活断層
地図や写真を使って活断層を教えましょう。

近畿地方を中心に教えましょう。
日本は、どこに住んでいても地震から逃れられないことを教えましょう。

5分

6 まとめ
活断層型地震が発生した場合に考えられる災害にふれ、日々の備えの大切さを教えましょう。



学習発表風景

学習に役立つもの

役 立 つ も の	備 考
地球の構造を示す図	下記の予備知識参照
活断層型地震の発生を示す図	参考資料1「地震のメカニズム」参照
プレートの沈み込みと跳ね上がりによりプレート型地震が起きることを示す図（模型）	
日本列島周辺のプレートと近畿地方の活断層図	

家庭への持ち帰り

- 日本是世界の中で地震の多い国であり、どこに住んでいてもいつ地震に襲われるか分からないことから、日頃の備えが必要であることについて家族で話し合しましょう。
- 保護者の地震体験を聞いてきてもよいでしょう。

予備知識

地球の構造

地球は中心の部分を除いて岩石で構成されていますが、内部には高温となる核の部分があります。核の外側にはマントルという層があり、核の熱に影響してマントルの上の部分がゆっくりと動き、さらに地表近くにあるプレート（地殻）もゆっくりと動いています。

地震のしくみ

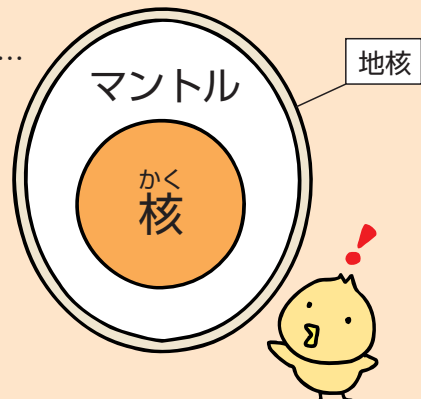
プレートの境界ではプレート同士の押し合う力によって、プレートの内部にひずみがたまり、地震を発生させています（プレート内地震と呼ばれ、活断層による内陸地震もこの種類です）。また、陸と海のプレートの境界では、海のプレートが陸のプレートの下に沈み込んでいくことが多く、この沈み込んだ海のプレートの内部でひずみがたまり、地震を発生させています。

参考：気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/whitep/2-2.html>

地球の構造は、ゆで卵とよく似ているので、ゆで卵を例にして、地球の構造を説明してもよいでしょう。

地球の構造をゆで卵にたとえると…

- 黄身：核
- 白身：マントル
- から：地殻（プレート）

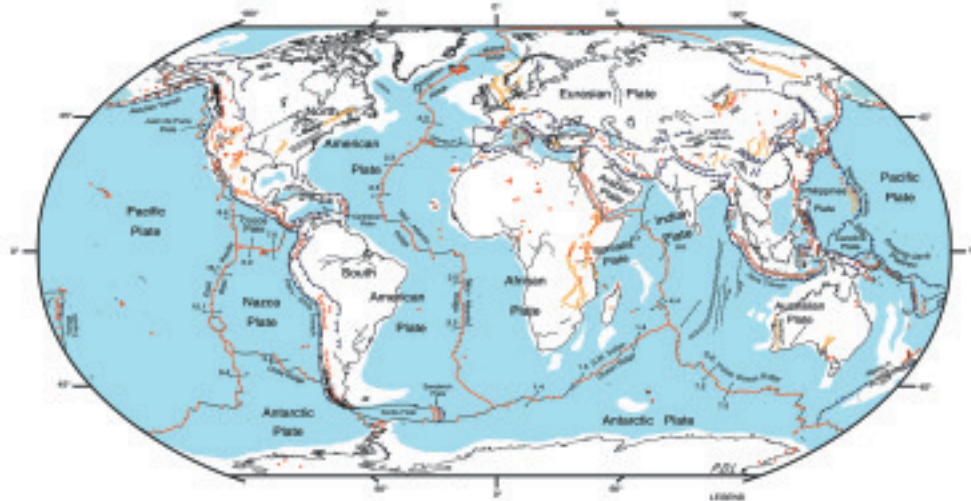


地震とプレートテクトニクス

1 地球の表面は殻のあつまり

地球の表面はひび割れた硬い殻からできています。これをプレートと呼びます。ひび割れた線（プレート境界）が図の赤い線や▲が付いた黒線です。その周辺で地震が多いことが分かります。

グローバルな地殻変動活動マップ

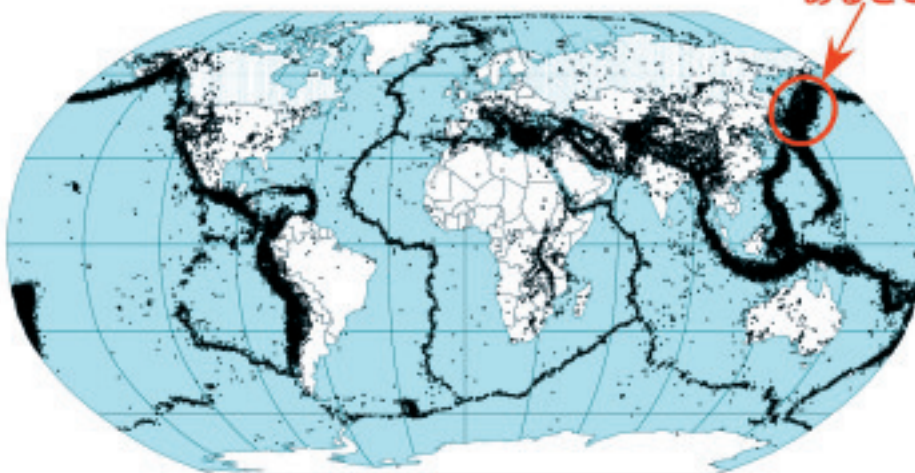


図はNASA（アメリカ航空宇宙局）のサイト（<http://denali.gsfc.nasa.gov/dtam/data.html>）から借用したものに加筆しました。

2 地球上で地震が起きている場所

地球上の地盤の動きと地震の活動は、深い関係があると言われています。地球上の動きは、プレートテクトニクスという考え方で説明されています。

震央の予備的測定（1963-1998）



図の黒い点は地震が起こったところです。地震は地球上のごく限られた場所で起こり、帯状に並んでいます。

日本列島は特に地震活動が盛んで、黒く塗りつぶされています。

図はNASA（アメリカ航空宇宙局）のサイト（<http://denali.gsfc.nasa.gov/dtam/data.html>）から借用したものに加筆しました。

地震・活断層と共に生きる

1 毎月10兆トンの山を動かす地球の力
地球上では平均すると1ヶ月に一度は、マグニチュード7の大地震が起きています。地球が動かす山の重さは10兆トン、世界最大のブルドーザーが一度に動かすことのできる土の重さの1,000億倍にあたります。



▲函館山からみた風景
高島平野と琵琶湖の向こう側に伊吹山が見えます。

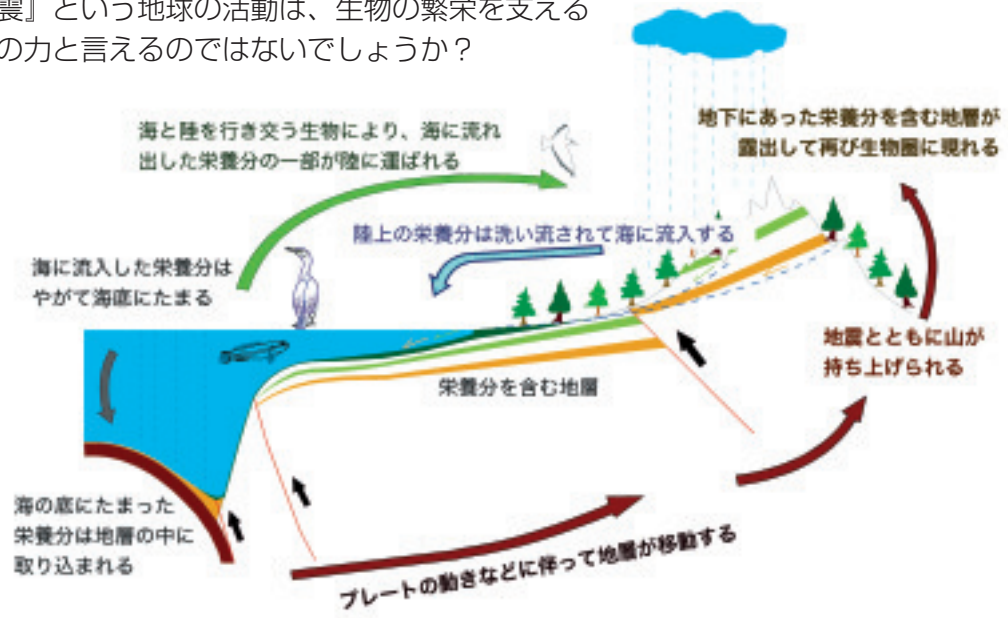
滋賀県にも地球の力で作られた風景がたくさんあり、例えば、近江盆地や琵琶湖、比良山地なども数十万年間におよび琵琶湖西岸断層の活動によって隆起しました。

▼琵琶湖博物館から見た比良山地



2 地球上の栄養（ミネラル）の循環と地震

もし地震がなくなったら、動植物の体をつくるリンやカルシウムといった栄養分は、海と陸を行き交う魚や鳥によってのみ、地球上を細々と循環することになってしまうでしょう。『地震』という地球の活動は、生物の繁栄を支える1つの力と言えるのではないのでしょうか？



資料提供：小松原 琢（産業技術総合研究所地質情報研究部門）

2

震度とマグニチュード



学習のねらい

地震を学ぶうえで、基本的な知識となる震度とマグニチュードの違いを正しく理解させる。

連携機関・ネットワーク

☆ 彦根地方気象台

防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

15分

1 マグニチュードを学ぶ

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）のマグニチュードから、数字の大小とエネルギーの大きさの関係を映像や図、イラストなどを使って分かりやすく解説しましょう。

震度とマグニチュードの関係を分かりやすく解説しましょう。



20分

2 震度と生活

- (1) 震度とは
- (2) 震度0～7の10段階を震度表で確かめます。
映像を使って震度5弱、5強、6弱、6強、7の揺れの激しさを確認し、震度表と対比させましょう。
- (3) 「e-ディフェンス」の室内転倒実験映像などを見せて、具体的な揺れの状態を理解させましょう。
- (4) レポートに記録しましょう。

人の動作や家具、ガラス、電灯、シャンデリア、浴槽の水、自動車の運転などに注目しよう。

震度5弱、5強、6弱、6強、7の揺れの激しさを確認しよう。

TVの音量と実際に聞こえる音の違いを例にとって、震度とマグニチュードの違いを理解させましょう。

10分

3 まとめ

震度とマグニチュードの違いをおさらいしましょう。
学習後には、テレビの地震情報にも関心を持つように指導し、他地域で発生している地震の震度やマグニチュードの数値に関心を持たせましょう。

学習に役立つもの

役立つもの	備考
TVの音量と聞こえる音の解説図	被災映像は、消防庁のホームページから視聴することができます。 <チャレンジ防災48> http://www.e-college.fdma.go.jp/bosai/index.html
震度一覧表（参考資料編参照）	
阪神大震災の被災映像やe-ディフェンスの室内転倒実験映像	
震度観察ワークシート	

家庭への持ち帰り

- 震度とマグニチュードで学んだ違いについて、保護者にも伝えるように指導しましょう。

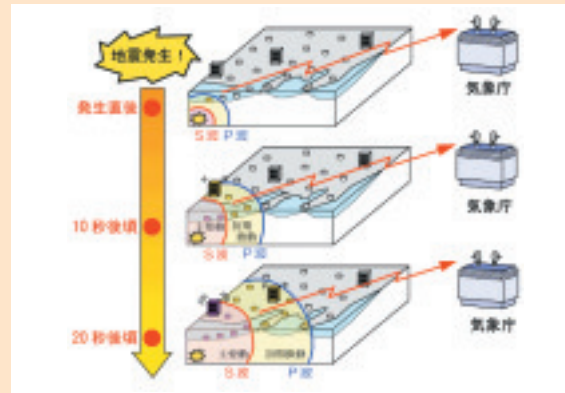
ひと工夫

- 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）などについて、マグニチュードの大きさと、各地の震度分布を調べてみよう。

緊急地震速報

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報です。

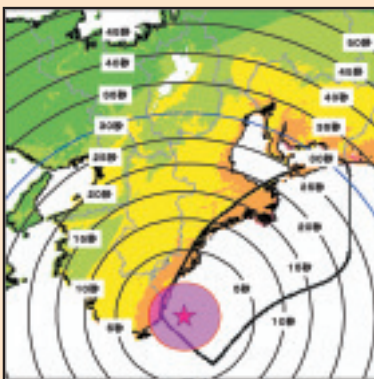
緊急地震速報を見聞きした場合は、速やかに身の安全を図りましょう。



【緊急地震速報のしくみ】
気象庁ホームページ(URLは以下に記載)から引用

猶予時間

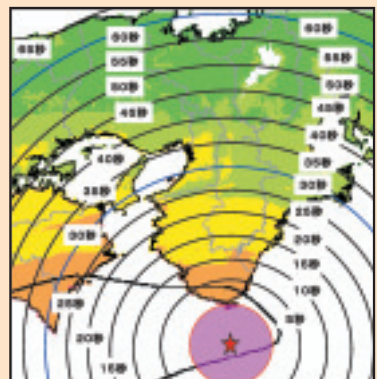
琵琶湖西岸断層帯に代表される活断層による地震（内陸型）は、震源が近いために緊急地震速報が間に合わない地域が多くなりますが、東南海・南海地震といったプレート型（海溝型）の地震は緊急地震速報が間に合い、猶予時間があると考えられます。



地	震	猶予時間
東南海地震 (想定：M8.1)	滋賀県北部	約30秒
	滋賀県南部	約25秒
南海地震 (想定：M8.4)	滋賀県北部	約45秒
	滋賀県南部	約30秒



- ・地震波を観測した4秒後に緊急地震速報を発表すると想定。
- ・震央は★マークで表現しています。
- ・赤丸の範囲は緊急地震速報が間に合わない範囲です。
- ・震度分布図は「地震調査研究推進本部」の調査によって発表されたものです。



提供:彦根地方気象台 <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/Whats>

3

グラツときたら・・・

—想像しよう、もし大きな地震に襲われたら—



学習のねらい

地震体験のない児童に学校、自宅、通学路、スーパーなどで大きな揺れに遭遇したらどうなるか想像させる。

実際に地震の時にどのように行動し、備えるかを日頃から考える。



連携機関・ネットワーク

☆ 滋賀県防災危機管理局

防災編

防犯編

参考資料編

	授業の流れ	指導ポイント
10分	<p>1 知っている地震 児童が実際に体感したことのある地震について、黒板に書き出してみましょう。</p>	<p>起震車体験や災害の映像視聴など、擬似体験を終えていると効果的でしょう。震度別に地震に遭遇した場所や時間なども情報も添えて書き出すのもよいでしょう。</p> <p>考えるヒントになるように、具体的な状況を写真、漫画、イラストなどを用意しておきましょう。</p> <p>緊急地震速報を活用した場合も想定してみましよう。</p> <p>地震に遭遇したとき、自分1人の場合や友だちと一緒にいるとき、保護者がいるときなど、様々な設定も加えていきましょう。</p>
20分	<p>2 想像してみようー今地震が起きたらー</p> <p>(1) 黒板に書き出された場面 黒板に書き出された場面での地震について、どんな状況に陥るか考え、打開策を話し合しましょう。</p> <p>(2) それ以外の場面 黒板には書き出されていない場面で、地震にあったと仮定し、どのような状況に陥るか考え、それらの対策を話し合しましょう。</p>	
10分	<p>3 発表 話し合った対策案を発表しましょう。</p>	
5分	<p>4 まとめ 教室で地震に遭遇した時の対処法を復習しながら、日頃の備えが大事であることを教えましょう。</p>	

学習に役立つもの

役 立 つ も の	備 考
揺れの状態を示す写真、映像、イラスト	参考資料2「震度とマグニチュード」参照 下記の参考資料「e-ディフェンス」参照

ひと工夫

- 地震だけでなく火災が発生した場合、大雨で避難する場合、強風の中帰宅する場合など想像を広げてみよう。
- 緊急地震速報が流れた時、例えば5秒間でどのような行動がとれるか試してみよう。

家庭への持ち帰り

- 我が家で地震が発生した場合、どのような行動をとるのか、家族で話し合っておきましょう。

参考資料

- e-ディフェンスの実験映像：独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
<http://www.bosai.go.jp/hyogo/research/movie/movie.html>

予備知識

- 地震発生時の行動を考える
 - (1) まずは身の安全を確保！丈夫な机の下などに伏せて、揺れがおさまるまで待ちましょう。
 - (2) 火の始末（出火したらすばやく消火）
 - (3) 出口の確保！エレベーターに乗っているときは、すぐに全ての階のボタンを押すこと。
 - (4) 慌てて外に飛び出さない！慌てて家の外に飛び出し、車にひかれて死亡した方もいます。落ち着いて、瓦や窓ガラスなどの破片物や、屋外のブロック塀にも注意しましょう。
 - (5) 情報収集！間違った情報に惑わされないように、安全な場所でテレビやラジオなど、正しい情報を収集しましょう。
- 学校生活と、日常生活の場面に潜む危険性について考える
 - (1) 身近な校内について考えよう
 - ・ 廊下や階段：ガラスが割れて飛び散ったり、電灯が落下したりする危険性
 - ・ 運動場：ゴールポストが倒れてきたり、校舎の窓ガラスが落下したりする危険性
 - ・ 理科室：薬品やガスバーナーを使用している時、地震に遭遇した場合の危険性
 - ・ 家庭科室：包丁を扱っていたり、ガスを使用している時に地震に遭遇した場合の危険性
 - (2) いろいろな場面について考えよう
 - ・ 自宅やマンション：火元や固定されていない家具の危険性
 - ・ デパートやスーパーマーケット：商品や人のあふれる空間で、揺れだしたときの危険性
 - ・ 道路：地震に驚いて急ブレーキをかける自動車や、交通ルールを無視した自動車の事故に巻き込まれる危険性
 - ・ 山：土砂崩れに巻き込まれる危険性

4

将来、滋賀県でも起きる確率が高い地震

—過去の大震災との比較—



総合



屋内



高学年



学習のねらい

県内で最も危険とされる琵琶湖西岸断層帯地震の規模や予想される被害を、過去の大震災と比較しながら学ぶ。

連携機関・ネットワーク

- ☆ 各市町消防防災主管課
- ☆ 滋賀県防災危機管理局
- ☆ 彦根地方気象台

防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

10分

1 過去の地震災害

阪神・淡路大震災を中心に、姉川地震や東日本大震災の揺れや被災状況などを教えます。

クイズ形式を取り入れて、児童に回答させてもよいでしょう。

東日本大震災による津波被害と、阪神・淡路大震災の被害状況との違いについても教えましょう。

30分

2 将来、滋賀県で起こりうる地震災害

(1) 地震災害

将来、滋賀県で地震を起こす心配のある活断層について教えましょう。

東南海・南海地震などのプレート型地震の滋賀県への影響についても考えてみましょう。

(2) 琵琶湖西岸断層地震

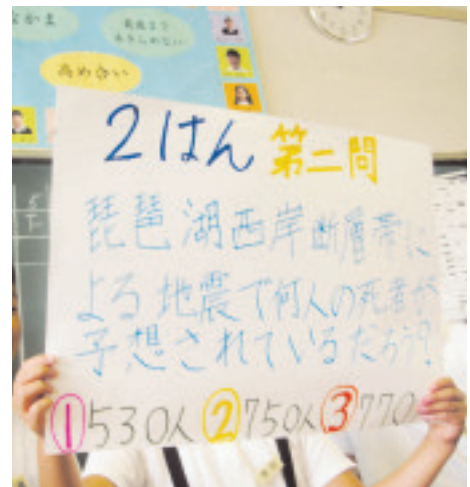
- ア 琵琶湖西岸断層の概要
- イ 阪神・淡路大震災との比較
- ウ 滋賀県で起こりうる地震の予想震度

身近なところに危険な活断層があることや、その活断層による地震は、阪神・淡路大震災と同等以上の被害の恐れがあることを教えましょう。

5分

3 地震以外の災害

災害は地震だけではなく、台風、洪水、土砂崩れなど種類が多く、いずれの災害も滋賀県で起きる可能性があることを確認しましょう。



クイズ形式での学習模様

学習に役立つもの

役立つもの	備考
琵琶湖西岸断層の写真	参考資料3「琵琶湖西岸断層帯」参照
過去の災害の写真や絵	

ひと工夫

- 地震クイズ
阪神・淡路大震災の概要や琵琶湖西岸断層帯地震との比較などを、クイズ形式で学んでみよう。

<クイズの出題形式>

- ・ 発生日時
- ・ 地震の揺れの違い（震度）
- ・ 原因（活断層とプレート）被害の違い
- ・ 地図で実際の位置を確認

家庭への持ち帰り

- 我が家で取り組む地震対策を、家族で話し合ってみましょう。



参考資料

- 滋賀県HP「防災ポータル」 <http://www.pref.shiga.jp/bousai/>
(滋賀県で過去に発生した地震被害が分かる「滋賀県災害誌」や、東南海・南海地震が発生した場合の滋賀県での予想震度、被害予測のほか、琵琶湖西岸断層帯以外の県内の活断層の長期評価などが掲載されています。)
- 県内の断層帯
本ガイドの参考資料編には、滋賀県内の活断層と予測規模が記載されていますので、参考にしてください。

地震調査研究推進本部

地震調査研究推進本部は、地震に関する調査研究を行うため、文部科学省に設置された政府の特別機関です。ここでは、関係機関の職員や学識経験者からなる委員によって、長期的な観点による地震発生可能性の評価や、発生した地震活動に対する評価を行っています。

地震調査研究推進本部が、地震調査研究に関する基本的な政策を立案する時には、防災の重要政策を審議する「中央防災会議（本部長：内閣総理大臣）」の意見を聞くこととしており、このようにして、防災対策と地震研究との調整が図られています。

参考：<http://www.jishin.go.jp/main/index.html>

5

活断層を学ぼう

—滋賀県の活断層—



学習のねらい

滋賀県が地震と無縁ではなく、県内には多くの危険な活断層が存在していることを学ぶ。
大きな地震が発生すると、人命や財産に多大な被害が出ることを知る。

連携機関・ネットワーク

- ☆ 彦根地方気象台
- ☆ 滋賀県防災危機管理局

防災編

防犯編

参考資料編

	授業の流れ	指導ポイント
5分	<p>1 地震のメカニズムについて学ぼう 参考資料を参考にしてもよいでしょう。</p>	<p>地震のメカニズムや活断層などの勉強を終えている場合は、近年の地震災害に関する新聞など、時事をとりあげて関心を高めましょう。</p> <p>可能であれば、近くにある活断層を見学させましょう。</p> <p>M7.3の阪神・淡路大震災の被災映像や写真を見せ、地震にはどの程度の危険性があるのか教えましょう。</p> <p>家具の転倒防止など、他の学習に繋げるきっかけを作ろう。</p>
	<p>2 直下型地震を引き起こす活断層 活断層の危険性を教えましょう。</p>	
10分	<p>3 滋賀県とその周辺の活断層 滋賀県の地図を広げて、国の機関が公表している滋賀県周辺の主要な断層帯の位置を調べよう。</p>	
20分	<p>4 琵琶湖西岸断層帯の危険性 滋賀県には多くの活断層があり、大地震に襲われる危険があることを教えましょう。</p>	
10分	<p>5 災害に対する日々備え</p> <p>(1) 天気予報と地震発生予測の違い 地震はいつ起きるか解らないけれど、ある程度の予測は可能であることを天気予報と比較し理解させましょう。</p> <p>(2) 地震対策 今できる地震対策について、話し合いましょう。</p>	

学習に役立つもの

役立つもの	備考
(台風などの) 天気予報と地震発生予測の比較図	参考資料3「琵琶湖西岸断層帯」参照
琵琶湖周辺の活断層図	
琵琶湖西岸断層帯地震・鈴鹿西縁断層帯地震・花折断層帯地震などの発生確率、被害想定に関する資料	

ひと工夫

- 琵琶湖西岸断層帯から遠い学校は、身近な地域の活断層についても調べてみよう！
- 滋賀県地図に活断層を書き写させたり、活断層の名称を書き込んでみましょう。

予備知識

- 地震の種類
 - ・ プレート型地震=東日本大震災、東南海・南海地震
 - ・ 活断層による直下型地震=阪神・淡路大震災等
- 活断層に注意！
活断層とは今から約200万年前（最近の地質時代＝第四紀）の間に地震が起きた証拠があり、今後も地震が起きる可能性があると考えられる断層です。
 - ①琵琶湖西岸断層帯 ④鈴鹿西縁断層帯
 - ②三方・花折断層帯 ⑤野坂・集福寺断層帯
 - ③柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯

家庭への持ち帰り

- 滋賀県には地震が起きる心配のある活断層が数多くあることを伝え、我が家でできる地震対策を話し合しましょう。

参考資料

- 滋賀の活断層
(参考資料編参照)

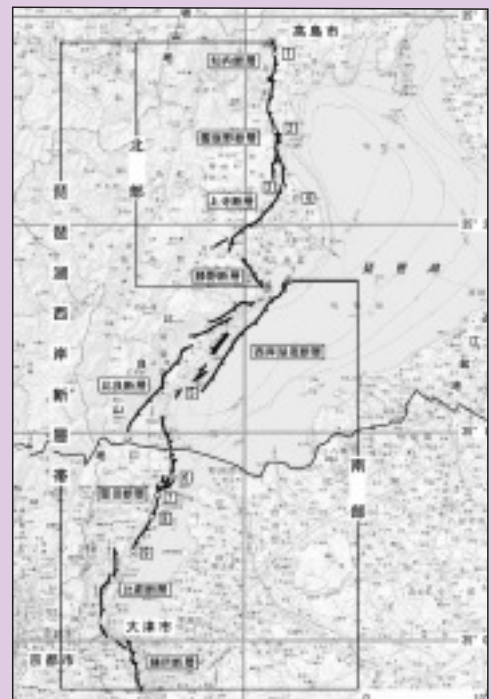
断層帯地震の長期評価

琵琶湖西岸断層帯北部の活動間隔は平均約1000～2800年で、最も近い時期は約2800年前 2400年の間といわれ、今後30年以内に発生する確率は1%～3%といわれています。

琵琶湖西岸断層帯北部と南部が一緒に動くとM7.8程度の地震が発生すると推定されており、また我が国の主な活断層としては発生確率の高いグループに属しています。

ただ数字に一喜一憂するのではなく、いざという時のための心構えや知識、知恵を養いましょう。

参考：地震調査研究推進本部ホームページ
http://www.jishin.go.jp/main/chousa/09aug_biwako/f02.htm



6

ぼうさいダックで楽しく学ぼう



学習のねらい

自分のからだは自分で守ることを伝える。

ハザード(災害・危険)などに対する「最初の第一歩(ファーストムーブ)」を身につける。

連携機関・ネットワーク

- ☆ 管轄消防本部・消防署
- ☆ (社)日本損害保険協会近畿支部

防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

5分

1 ゲームの説明

進行役(教師)の合図で、ハザード(災害・危険)などが描かれているカードを見せた後、裏面の動物のポーズを真似することを理解させてください。

カードによっては、床に伏せる動作や機敏な動きもありますので、子ども同士がぶつかることのないように、互いの間隔などに注意してください。

10分

2 ゲームの練習

いくつかのポーズを練習してみましょ。その際、皆で声を一緒に出してみるとよいでしょう。

始めはゆっくり練習することで、ポーズをしっかりと身につけるよう指導しましょう。

10分

3 ゲーム開始

進行役がカードを持って、児童にカードの表面を見せてください。児童は、そのカードにあったポーズを一斉にとります。

イス取りゲームのように、音楽を加えてみてもおもしろいでしょう。

慣れてきたら、進行役を児童にやらせてみましょう。

中学年を対象に加える場合は、低学年を指導する係にするとよいでしょう。



(表面)



(裏面)

<ぼうさいダック>

- ・表面に地震災害のカード。
- ・裏面は、地震に備えて、ポーズをとる動物(ダック)のカード(身体を丸めて頭を守るポーズ)。
- ・カードは全部で12種類。災害カードの裏に描かれているポーズを身につける。

学習に役立つもの

役立つもの	備考
ぼうさいダックカード	
笛	

ひと工夫

- 相撲のように2人の児童を向かい合わせて、どちらが早くポーズを取れるかを競い合せて学ぶこともできます。
- 遅いテンポや速いテンポの音楽に合わせて、ポーズを学ぶとよいでしょう。

家庭への持ち帰り

- 学んだことを保護者に話し、感想をもらいましょう。

参考資料

- 解説DVD



予備知識 ～(社)日本損害保険協会の取組み～

(社)日本損害保険協会では、「ぼうさいダック」を活用した防災教育活動を、2008年度には45回、2009年度には58回、2010年度には42回、実施しています。是非、皆さんも「ぼうさいダック」で遊びながら防災教育に挑戦してみてください。

「ぼうさいダック」の概要や進め方については、実際に幼稚園で行った映像や専門家の解説を交えながら、わかりやすく紹介した解説DVDも作成しています。この解説DVDは、貸出も実施していますので、同協会のホームページを参照してください。

参考：内閣府ホームページ

<http://www.bousai.go.jp/km/gst/kth19002.html>

(社)日本損害保険協会ホームページ

<http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/duck.html>

ぼうさいダックとは

「ぼうさいダック」とは、児童が実際に身体を動かし、遊びながら災害時の対応を学ぶカードゲームです。B4判のカードの表には、「地震・津波・火事・台風・洪水・雷・蜂・道路・誘拐・挨拶・ひったくり・ごめんなさい」の12種類のイラストが描かれています。裏には、それに対応する動作が描かれています。

児童が楽しみながら繰り返しゲームをするうちに、12種類のイラスト（ハザード（災害、危険）など）に対応する動作「最初の第一歩（ファーストムーブ）」を自然と身につけることができます。

<取組事例> ぼうさいダックで学ぶ身のこなし

発表者：(社)日本損害保険協会近畿支部 防災博士

学校名：草津市立笠縫小学校

住所：草津市上笠1丁目6番2号

- 取組学級：全学年
- 対象児童数：約550名
- 取組教科：防災訓練
- 連携機関：(社)日本損害保険協会近畿支部、湖南広域消防局防災指導課

取組経緯

平成21年に滋賀県立琵琶湖博物館で開催されていた「姉川地震発災100年メモリアル事業～百年前の大地震―姉川地震に学ぶその備え」の会場で、(社)日本損害保険協会近畿支部防災博士として「ぼうさい探検隊」等のPRを実施していたところ、草津市立笠縫小学校の校長が来館されたことがきっかけとなって、県内小学校で初めて「ぼうさいダック」に取り組みました。

取組内容

この訓練は、防災博士だけでなく、同小学校を管轄する湖南広域消防局の職員に来ていただき、合同で下記のとおり行いました。

1 避難訓練（9：20～9：30）

校内放送により地震が発生した想定で、児童全員がハンカチを口に当て、先生の誘導により体育館に避難しました。

2 阪神・淡路大震災時の映像（9：30～9：40）

まちや学校の被害状況の映像とともに、地震のシミュレーション映像を児童に見せて、地震災害の恐ろしさを教えました。



3 防災講話（9：40～9：50）

地震も含めて、身の回りには様々な危険があることを話し、「自分の身は自分で守る」ことの大切さを話しました。

4 ぼうさいダックの説明（9：50～9：55）

プロジェクターを使用し、地震、火事、不審者の3つのハザードを児童に見せて、それぞれに対応するポーズとして、地震が発生したら身をかがむ「ダック（英語ではあひる、かがむの意）」、火事時には、ハンカチを口に当てるポーズをとる「ためき」、不審者には、大声で叫ぶポーズをとる「ひつじ」の3点を説明しました。



ぼうさいダックの説明

5 音楽を用いたぼうさいダックゲーム（9：55～10：10）

実際に曲に合わせて、カードに表されたハザードに対応した動きが速やかにとれるように、全員で取り組みました。



学習効果

小学校での取組みは初めてでしたが、ぼうさいダックを実施して、児童は楽しく皆熱心にゲームに参加し、地震や火事の恐ろしさとすぐにしなければならない行動を学んでもらえたと思います。後日、校長先生から児童のなにげない言動にも、訓練で学んだことが生かされているとの連絡をいただきました。

なお、この訓練に高学年を加えるときは、低学年を教える立場としてゲームに参加させるとよいでしょう。



消防職員・消防団員の仕事 1

—社会で働く人たち—



社会



学習のねらい

消防職員・消防団員の存在を身近に知り、その仕事を学ぶ。
地域貢献の魅力と、自助・共助の大切さを伝える。

連携機関・ネットワーク

- ☆ 管轄消防本部・消防署
- ☆ 各市町消防防災主管課

防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

20分

1 消防職員と消防団員

- (1) 消防職員と消防団員の違いを確認
消防職員は消防を職務とする人であるのに対し、消防団員は他に仕事を持ちながら、自分たちの地域を守るため、消防活動や防火啓発に取り組んでいる人という違いを理解させましょう。
- (2) 消防職員と消防団員の仕事を学ぶ
消防職員は、消火、救急、救助業務だけでなく、火災予防に関する仕事があること、消防団員は、日頃の訓練をはじめ、消火活動や火災予防運動等を実施していることを教えます。

勤務内容だけでなく、勤務日や勤務時間などについても説明し、自分たちが様々な人に守られていることを理解させましょう。

どうすれば、消防職員や消防団員になれるのかも説明しましょう。
消防職員や消防団員が身近な存在であることを教えましょう。

25分

2 消防職員と消防団員との出会い

- (1) 消防職員と消防団員との違いの確認
児童に消防職員や消防団員との関わりを考えさせてみてください。
- (2) 準備
実際に来ていただく消防職員や消防団員の方々に対し、勤務地や勤務内容、経験された災害など、尋ねたいことを考えさせましょう。

自分たちが、消防職員や消防団員に守られていることを理解させましょう。

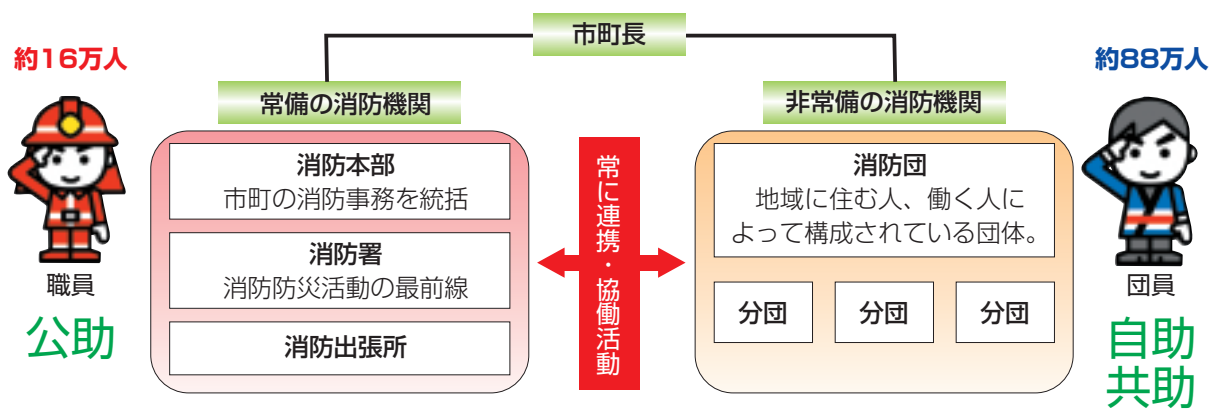
消防職員、消防団員の方々に対して、志望動機や、仕事へのやりがいを尋ねてもよいでしょう。

消防団とその活動

1 消防本部と消防団の違い

消防本部も消防団も、消防組織法に定められた消防機関です。しかし、消防本部は常勤の消防職員が業務（火災・救急活動など）に携わっているのに対して、消防団は災害等の際に対応する非常備の組織で、多種多様な職業（自営業・サラリーマン）の人員で組織されていることが特徴です。

全国には消防職員が約16万人いますが、消防団員はその5倍以上となる約88万人存在していることから、消防団は「要員動員力」に優れているほか、「地域密着性（団員は地域に居住または勤務）」、「即時対応力（日頃からの教育訓練により災害対応の知識を習得）」といった特性も有しています。（人数はいずれも平成22年4月1日現在）



2 消防団の主な活動

消防団員は、火災時における消火活動のほか、次の活動などに従事しています。

▶ 防災啓発活動

災害を起こさないために、火災予防や防災の啓発活動を行っています。

▼ 応急手当活動

応急手当の普及を図ります。



▶ 警戒活動

台風や集中豪雨時に堤防が決壊を防ぐため、土嚢積みなどの防災活動を行っています。

また、防火パトロールや警戒活動を行い、地域の安全を守っています。



▼ 消防活動

火災時、消防団員は消火活動にあたります。鎮火後には、再び火災にならないよう、残火処理にあたります。また、普段から訓練を実施するなど、鍛錬に努めています。



◀放水で消火します。



◀ 救出・救助活動

地震や風水害といった自然災害が発生した際には、消防団員が的確な救助・救出活動を行います。

守る 助ける

7

消防職員・消防団員の仕事2

—社会で働く人たち—



学習のねらい

消防職員・消防団員の存在を身近に知り、その仕事を学ぶ。
地域貢献の魅力と、自助・共助の大切さを伝える。


連携機関・ネットワーク

- ☆ 管轄消防本部・消防署
- ☆ 各市町消防防災主管課

防災編

防犯編

参考資料編

	授業の流れ	指導ポイント
20分	<p>1 消防職員や消防団員と話そう</p> <p>(1) 消防職員や消防団員の紹介 消防職員や消防団員の方々の顔がよく見えるように児童を前に集め、紹介しましょう。</p> <p>(2) 消防に関するQ & A 児童が知らないと思われる内容を題材に、消防に関する問題を出してもらいましょう。</p> <p>(3) 消防団からみんなへのお願い 最後に消防職員や消防団員から、災害に対する日々の備えや気配りをして欲しいことなどを話してもらおう。</p>	<p>児童を声が届く範囲に集めましょう。</p> <p>消防職員、消防団員になった志望動機や、仕事へのやりがいを尋ねてもよいでしょう。</p> <p>成長したら消防団員になる、または何らかの形で消防活動に関わりをもってくれるよう、児童に勧めてください。</p>
10分	<p>2 消防職団員によるポンプ操法の実演</p> <p>校庭に移動して、消火活動で素早く動く消防職団員の姿を見せてもらいましょう。</p>	 <p>団員によるポンプ操法の模様</p>
15分	<p>3 消防車両の見学</p> <p>消防職員や消防団の人たちが実際に乗ってきた消防車両について、説明を受けましょう。</p>	

ひと工夫

- 実際に、消防職員や消防団に関わった経験がない児童でも、映画や本などで消防職員や消防団員を知っているかもしれません。紙の上や画面の中とは異なる消防のやりがいや、魅力を伝えましょう。

予備知識

- 女性消防団員について
 地域コミュニティと深い関わりがあり、きめ細かな視点を有する女性消防団員は、消防団全体の活性化やイメージの変化などで大変重要です。
 女性消防団員は、応急手当の普及啓発や、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、火災予防のための啓発活動、消火・防災訓練などの活動を実施しています。
 女性消防団員の数は年々増え続けており、全国では約19,000人、滋賀県でも182人の方が団員として活躍されています。(人数はいずれも平成22年4月1日現在)



応急手当訓練の様様

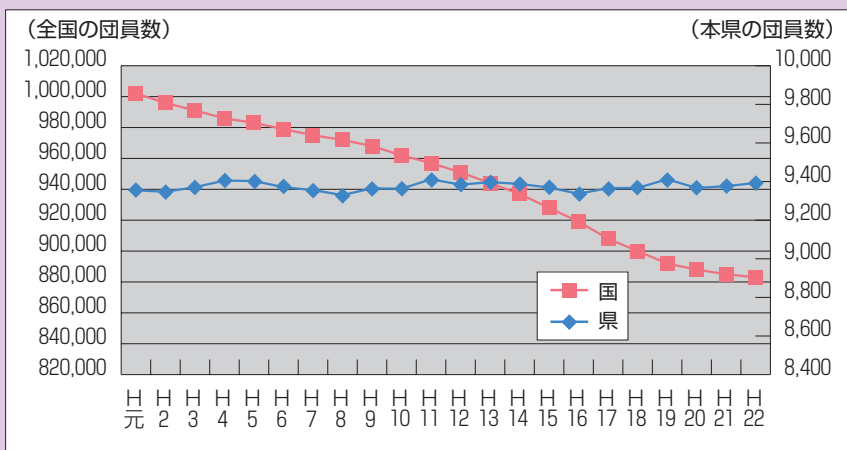
写真提供：甲賀市

参考：消防団公式サイト(消防庁) <http://www.fdma.go.jp/syobodan/index.html>

家庭への持ち帰り

- 消防職員や消防団員の話をお家にも伝えましょう。
- 両親に、消防団員が少なくなっていることを伝えましょう。

大人になったら消防団に入ろう！



平成元年に全国で100万人いた消防団員も、平成19年には90万人を割り込み、滋賀県の団員数もほぼ横ばいで推移しています(図参照)。人口減少による過疎化、消防団員の高齢化、団員の被雇用者化などが、その原因と言われています。

他に仕事を持ちながら自分たちの地域を守るために

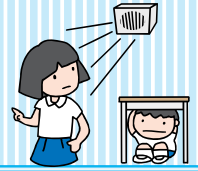
活躍する消防団員は、私たちのヒーローであることを児童に理解させ、入団資格である18歳以上になったら、消防団に入団できることや消防活動に関わりをもってくれるよう勧めて下さい。

参考：平成22年版消防防災年報(滋賀県防災危機管理局)

<http://www.pref.shiga.jp/c/shobo/shobo hoan/bosainenpo/h22nenpo/222nenpo.html>

8

避難訓練



学習のねらい

地震や火災時に、安全に避難させるための能力と態度を身につける。
基本的な避難の方法や経路、避難場所の確認をする。
平素より、自分や他人の命を守る意識を高めさせる。



連携機関・ネットワーク

☆ 彦根地方気象台 ☆ 管轄消防本部・消防署

防災編

防犯編

参考資料編

	授業の流れ	指導ポイント
5分	1 避難訓練の開始 (1) 地震発生放送を入れます。 「訓練、訓練、ただいま地震が発生しています。児童のみなさんは身の安全を守りその場にしゃがみましょう」 (2) 避難 話などをせず、速やかに集合させましょう。 「ただいま地震の被害が出ていますので担任の先生や近くの先生の指示に従い、避難してください」 (3) 避難終了人員点呼（確認） 点呼を確実に実施しましょう。 <点呼の確認後、以下の順で報告しよう> 各担任→学年主任→教頭→校長	緊急地震速報を使って訓練を開始し、地震が来る前の動作を確認するとよいでしょう。 教室にいる者は机の下、廊下や建物横にいるものは危険物を避けてしゃがむよう、事前に指導しておきましょう。 休憩時間中には児童の動静が把握しにくいので、校舎内に残る者がいないか念入りに点検しましょう。 建物付近や窓の付近でのしゃがみ込みに注意を払いましょう。 避難時の約束事（「おかしも」）を守るように徹底しましょう。
10分		
5分	2 講評 校長先生から避難訓練の良かった点、悪かった点などの話を聞きましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> おさない かけない しゃべらない もどらない </div> <p>※地域によっては「おはしも」場合があります。（は：走らない）</p>
5分		

学習に役立つもの

役立つもの	備考
記録用紙	
ホイッスル	
メガホンマイク	
ストップウォッチ	

ひと工夫

- 「防災9の児童引渡し訓練」と同時に取り組んでみましょう。
被災した児童を保護者に引き渡すまでの心構えや、クラスや学年を超えた協力関係の大切さを学ぶことができます。
- 地震だけでなく、火災や水害、不審者といった被害設定も取り入れてみましょう。

予備知識

- 消防計画の作成について
消防法では一定規模以上の事業者に対し、防火管理者を選任し、消防計画の策定を義務付けており、小学校も例外ではありません。
この消防計画の中に、消火、通報、避難訓練に関することを加えることとしています。
突然迫り来る様々な災害や、危機事案に対し、適切に対処できるよう、日頃からの訓練の励行と、計画の定期的な見直しが必要です。

家庭への持ち帰り

- 火災時には、いち早く火災に気付くことが重要です。
自宅には、住宅用火災警報器が設置されているか、確認しましょう。

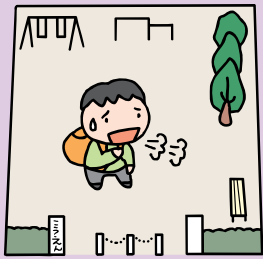
参考資料

- 学校防災・消防計画
- 学校防災マニュアル
- 危機管理マニュアル

避難場所と避難所の違い

- 避難場所
地震によって発生した火災から身を守るためや、多数の住民の避難を円滑にするため、一時的に留まる場所を一般的に避難場所と言います。

基本的に食料や水の備えなどはありませんが、一時的に身の安全を確保できます。



- 避難所
大規模な災害によって避難生活が長期化する場合や、被害を受ける恐れのある場合に、一定の期間生活する場所を通常、避難所と言います。

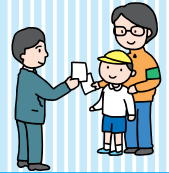
基本的には飲料水やトイレなどを備えているので、長期的に身の安全を確保することができます。



9

児童引渡し訓練

—大規模災害発生を想定—



学習のねらい

緊急時に児童の引渡しを円滑に行うため、学校の実態に即した引渡しの方法を、保護者・教職員に対して周知する。

連携機関・ネットワーク

☆ 滋賀県防災危機管理局

防災編

防犯編

参考資料編

	授業の流れ	指導ポイント
事前	<p>0 保護者に事前説明</p> <p>(1) 児童引渡し情報カードを作成</p> <p>(2) 児童引渡し情報カードには、当日、保護者、教職員双方の署名をします。</p>	<p>被害想定を明確にしましょう。</p> <p>災害時の訓練なので、保護者にはできるだけ徒歩で来てもらうように伝えておきましょう。</p> <p>児童を引渡す際に必要な情報を、保護者に記入してもらいます。</p>
5分	<p>1 緊急放送</p> <p>緊急事態が発生したと想定して、小学校で作成されたマニュアルをもとに、校内放送を行いましょう。</p>	<p><確認すべき情報の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の被害状況調査 ・ 通学路とその周辺の被害状況 ・ 校区内の家屋の損壊、交通機関などの状況 ・ 安全確認、危険箇所の立入禁止措置
10分	<p>2 被害状況や校区(学区)の状況把握</p> <p>確認すべき内容をもとに、情報を正確に把握しましょう。</p>	
5分	<p>3 下校か、保護かの判断</p> <p>下校の場合には、集団下校か引渡しかの選択肢がありますがこの訓練では、引渡しを想定します。</p>	
15分	<p>4 保護者に連絡</p> <p>事前に作成した児童引渡し情報カードを使い、迅速に連絡しましょう。</p>	<p>保護者への連絡がとれない場合、児童を引き続き保護します。その場合、児童の心のケアを心がけましょう。</p> <p>兄弟姉妹がいる場合は、低学年の児童から引渡ししましょう。</p>
10分	<p>5 引渡しの実施</p> <p>(1) 児童をグラウンドに、学年や学級、分団ごとに集合させます。</p> <p>(2) 児童引渡し情報カードを元に開始します。</p>	

学習に役立つもの

役立つもの	備考
保護者への案内文書	2セット以上を別の場所に保管し、状況に合わせて活用できるように準備しておきましょう。
引渡し情報カード(例)	

ひと工夫

- 「防災8の避難訓練」や「防犯5の不審者対応訓練」と合わせて実施するとよいでしょう。

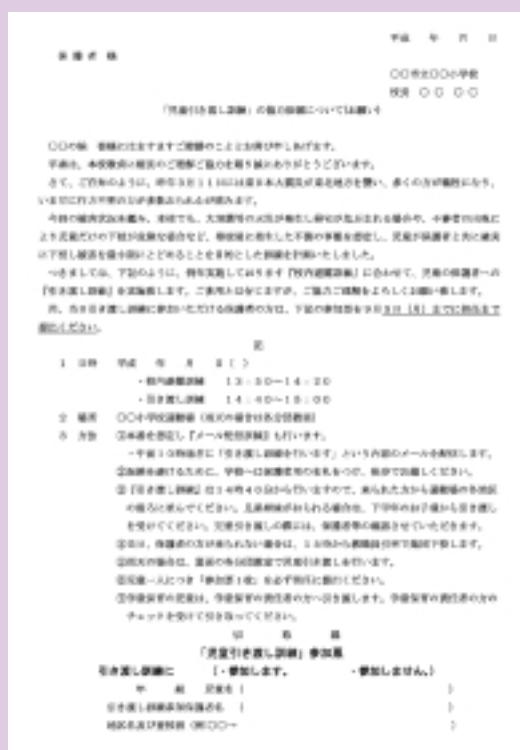
家庭への持ち帰り

- 引渡し後には、保護者とともに、帰宅経路の安全性を確認しながら帰るとよいでしょう。

予備知識 引渡し方法(例)

- 1 児童は、グラウンドに学年や学級、分団ごとに集合する。保護者は指定の場所で待機する。
- 2 ハンドマイク等の指示で引渡しを開始
 - ・ 学級担任(分団担当)に名前を告げて、引渡し情報カード又は引渡し一覧表で確認を受ける。
 - ・ 兄弟姉妹がいる場合は、低学年の児童から引き取る。
 - ・ 実際の場合に負傷した児童は、養護教諭(本部)に直接確認して引き取り、学級担任に報告して下校する。
 - ・ 児童が不明な場合は、本部にて指示を受ける。

【保護者への案内文書(例)】



【引渡し情報カード(例)】

学年	組	氏名 男・女	生年月日	年 月 日生
			血液型	型
住所 〒			地区名	
保護者名		児童との関係	電話	
			携帯	
兄弟姉妹 ある・なし		年 組 氏名	年 組 氏名	
緊急時の連絡先			電話()	
引き渡し場所	引き取り者	経路	引き渡し日時	確認欄
学校			月 日 時 分	
二次避難場所			月 日 時 分	
			月 日 時 分	
引き渡し確認 教職員名			特 記 事 項	

<取組事例> 児童引渡し訓練を実施しました

発表者：守山市教育委員会学校教育課

● 学校名：守山市立物部小学校

● 住所：守山市二町町252

● 取組学級：全学年

● 対象児童数：852名

● 参加保護者：434名

● 取組教科：特別活動

取組経緯

学校の管理下で、大地震が発生するなどの不測の事態を想定して、担任の誘導により、児童に安全かつ迅速な避難行動を身につけさせる避難訓練と、児童が保護者とともに確実に下校し、被害を最小限に留めることを目的とした引渡し訓練の実施する必要性を感じ、この度実施しました。



児童を保護者に引き渡している様子

取組内容

0 事前準備

訓練を実施するに当たって、事前に保護者へ文書案内と、スクールガードを含めたメール配信を行い、訓練実施の周知と協力を依頼しました。

1 朝の会

避難訓練の目的を児童に話し、避難経路や避難方法、引渡し訓練の確認を行いました。

2 避難訓練

校内に緊急放送を流した後、あらかじめ定めていた避難経路の安全を確認し、避難を開始しました。

3 避難完了・校長講話

児童数と状況の確認を行い、学年主任や教頭を通じて校長に集合の報告を行った後、児童に対し「おはしも」の徹底を呼びかけました。

4 再集合

児童には、教室に戻り荷物をもたせ帰る準備を行わせた後に、運動場へ集団下校の時のように並びなおすよう指示をしました。引渡し方法の説明を終えた保護者には、児童の列の最後尾に整列いただきました。

5 保護者の確認・引渡し

各地区ごとに担当教員が一人ひとり名簿で保護者を確認した上で、児童の引渡しを行いました。保護者に対し、下校時に地震が発生した時の危険箇所について話し合いながら下校いただくよう依頼しました。

6 残った児童の集団下校

分団担当教師が残った児童を引率し、下校しました。集団下校の際には、地震時にはブロック塀や落下物の恐れがあることを想定し、危険箇所を確認するよう児童に指導しました。



学習効果

初めての訓練でしたので、以下のとおり検討事項が明らかとなりましたが、訓練を実施した意義は大きかったと感じています。ありがたいことに、保護者の関心の高さも、約6割に当たる方から参加いただいたことに表れており、継続して本訓練を実施していきたいと考えています。

(良かった点)

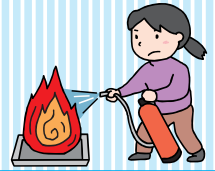
- ・ 避難訓練はスムーズに進んだ。
- ・ 全体的に時間に余裕をもたせたため、動きやすかった。
- ・ 実際に建物の崩壊やけが人の発生、準備のない中で大勢の保護者が一斉に殺到すれば、対応はより難しくなると分かった。

(検討事項)

- ・ 保護者への引取りの際、地区別参加者名簿を作っておけば、よりスムーズになった。
- ・ 保護者が遅れてくる場合があることも考慮しなければならないことが分かった。
- ・ 保護者に対して、訓練への積極的な参加を図る必要がある。
- ・ 引渡し訓練とは逆に、どこまで児童を預かれるのかを検討する必要がある。

10

消火器の取扱訓練



学習のねらい

火災発生時における初期消火の大切さと、消火器の使用方法を学ぶ。
消防職員や消防団員の存在を身近に知る。



連携機関・ネットワーク

- ☆ 管轄消防本部・消防署
- ☆ 各市町消防防災主管課



防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

10分

1 初期消火の重要性と役割

- (1) 映像を使って燃え上がるまでの様子を視聴し、初期消火の役割を伝えよう。
- (2) 初期消火の3原則を教えよう。
消火のためには、「燃焼の3要素（可燃性物質、酸素、火源）」のどれか一つを断ち切ることが大事であることを伝えましょう。
- (3) 住宅用消火器の必要性
学校の消火器がどこにあるかも教えておきましょう。

消防署等と連携して、事前に煙体験を行っておくと、煙の特性や火災の怖さが伝わるでしょう。

20分

2 水消火器の体験

- (1) 代表者による実演
代表者が消火器の手本を披露します。
- (2) 順番に水消火器を使った体験をします。

風上から火元へ、箒で掃くように放射することがポイントであることを説明しましょう。

水消火器1台当たり使用できる人数の目安は約5名です。

水・消火器だけでなく、座布団で火を叩く、毛布で火を覆うなども有効です。

15分

3 訓練成果

初期消火の3原則を確認し、学んだことや感じたことをまとめましょう。



消火器訓練の様様

学習に役立つもの

役 立 つ も の	備 考
三角コーン（火をイメージ）	
火災映像	連携機関が貸出可能
水消火器	※整備等の状況によるため、要相談

ひと工夫

- 消防職員や消防団員が来てくれている機会を生かし、災害時の実体験を児童に話してもらおう！
- 火災現場の緊迫感などを体験するため、消防職員や消防団員に実際の消火器を使うことができないか相談してみましょう。

家庭への持ち帰り

- 我が家に消火器があるのかを確認し、住宅用消火器の重要性を家族に伝えましょう。

予備知識

- 消火の原理
 - ・冷却法：水などをかけて、燃焼中の物体の温度を急速に下げる消火法です。
 - ・窒息法：酸素（空気）の供給を遮断する消火法です。
 - ・負触媒（抑制）法：火の中で起こる科学的連鎖反応を中断する消火法です。
- 初期消火の3原則
 - ・早く知らせる：大声で「火事だ」と知らせよう！
たとえ小さな火でも119番に通報するよう心がけましょう。
 - ・早く消火する：出火から3分以内が消火の限界！
消火器だけでなく、身近なもので火を叩いて消火を試みましょう。
 - ・早く逃げる：天井に火が燃え上がったなら、速やかに逃げよう！
- 住宅用消火器の管理
消火器には寿命があるので、年に1回定期点検を行い、買い換え時期を確認しましょう。

住宅用消火器を設置しよう

消火器には、大別して**業務用消火器**と**住宅用消火器**の2種類があります。

業務用消火器は、事業者の施設形態に応じて、消防法により設置が義務付けられていますが、一般住宅には消火器の設置義務はありません。

しかし、自宅で火災が発生した場合、初期消火に心強いのが**住宅用消火器**です。もしもに備えて、住宅用消火器を設置しましょう。

設置した後は、半年に一回程度、消火器に破損や腐食がないか、点検するようにしましょう。



煙体験と119番通報



学習のねらい

火災発生時の煙は大変危険であることを学び、適切な避難姿勢を身につける。
避難後には119番通報の訓練を行い、「避難」と「通報」の流れとその大切さを学ぶ。



連携機関・ネットワーク

☆ 管轄消防本部・消防署



防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

15分

1 煙の知識

(1) 煙の怖さ

火災で発生する煙には一酸化炭素が含まれており、煙を数回吸い込むことで一酸化炭素中毒となり、死に至る場合があることを教えます。

(2) 煙の特徴

煙は、屋内では天井から充満していく性質があるので、火災直後の床付近には、まだ比較的空気の層があることを学びます。

2 煙体験

(1) 煙体験施設

煙体験施設で、避難姿勢の確認を行います。

(2) 正しい姿勢による避難

ハンカチなどを使い、煙を直接吸わないようにし、できるだけ低い姿勢で床に残っている空気を吸うように逃げるのが大切です。

3 通報訓練

無事逃げられたら、その後に119番通報の練習を行います。実際に何人かで練習をしてみて、慌てずにできるかを確認してみましょう。

15分

15分

煙の量が増えると床近くまで煙が下がるので、急いで避難する必要があります。

<通報のポイント(例)>

消防本部	通報者
「火事ですか？救急ですか？」	火災が発生と回答
発生場所(住所)は？	住所または目標物を回答
どのような状態ですか？	何が・どこから・どのくらい燃えているかを回答
逃げ遅れや怪我人はいますか？	分かる範囲で回答
名前、電話番号を教えてください。	氏名・電話番号を回答

時間があれば、119番以外の緊急通報番号も教えましょう。

例：110番…警察に通報する電話番号

118番…海上での事故、不発弾(機雷等)発見、密航・密輸、不審船情報などを海上保安庁に通報する電話番号

学習に役立つもの

役立つもの	備考
煙体験ハウス	連携機関の貸出可
スモークマシン	※整備や貸出状況等によるため、要相談

ひと工夫

- 横浜市消防局の消防職員が考案した「けむとん（コラムに詳細）」などを参考に、煙の怖さを教えよう！

家庭への持ち帰り

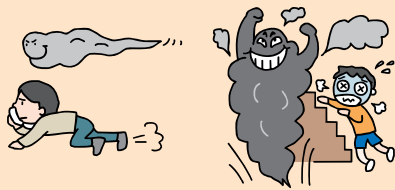
- 学んだ煙の怖さを家族に話し、我が家の防火対策として、住宅用火災警報器が設置されているかを確認しましょう。

参考資料

- 平成20年度消防機器の改良・開発及び消防に関する論文
<http://www.ffaj-shobo.or.jp/ronbun/ronbunh20.html>

予備知識

- 煙の怖さ
火災で発生した有毒なガスを吸い込むと、一口、二口吸っただけで身体が動かなくなるなど、死に至る場合があります。
特に恐ろしいのが一酸化炭素で、体内へ酸素を運ぶ役目を果たす血液中のヘモグロビンに、酸素の200～300倍の速さで結合して酸素不足を起こすため、頭痛やめまいを起し、中毒が進むと大変危険です。



- 煙の速度
一般的に水平方向に動く煙の速度は、人が歩く速度（0.5～1 m/秒）ですが、垂直方向は人の歩く速度より早い（3～5 m/秒）ので、階段付近などでは特に注意が必要です。

参考：『防火管理講習テキスト』（財）日本防火協会



けむとん（透明ビニール製煙道）

「けむとん」は、横浜市消防局の消防職員が考案し、平成20年度「消防機器の改良・開発及び消防に関する論文（主催：財）全国消防協会」で表彰されました。

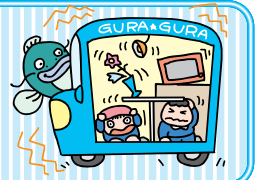
透明のビニールシートで作られるため、煙の層と空気の層を外から一目で見ることができます。煙の特性を実際に確認し、低い姿勢で避難することの大切さを自然と学ぶことができる資機材です。



12

起震車体験

—地震の擬似体験をしよう—



学習のねらい

地震の揺れを体験することにより、震災の怖さを体感させる。
地震発生時の対応について学ぶ。

連携機関・ネットワーク

☆ 管轄消防本部・消防署

防災編

防犯編

参考資料編

授業の流れ

指導ポイント

10分

1 起震車体験

- (1) 消防職員の話をお聞かせしましょう。
消防職員の声が聞こえ、顔がよく見える場所に、児童を集めて話を聞かせましょう。
- (2) 児童の中から手本となる代表者を選び、実際に起震車を体験しましょう。

地震の擬似体験が遊びにならないよう、事前にこの体験に臨む前の心構えを説明しておきましょう。

25分

2 起震車体験

- (1) 予め3～4人の班編成をしておきます。
- (2) 起震車の説明や注意事項を聞きます。
起震車体験の注意事項に従うように、児童を指導しましょう。

時間があれば震度4レベルから順に上げ、阪神・淡路大震災級の震度7を体験させましょう。

クラス順で全員に震度7を体験させましょう。他の児童の体験を見学させて、動きが取れないことを観察させましょう。

10分

3 起震車に乗った感想を発表

もし今のような揺れが実際に起こったらどうするか、児童に考えさせましょう。

時間に余裕があれば、消防職員から地震災害の実体験や、自然災害に対する備え・心構えを聞かせてもらいましょう。



起震車体験の様

学習に役立つもの

役立つもの	備考
起震車	起震車の貸出は、予約制です。 予備知識欄を御確認ください。
記録用紙	

ひと工夫

- 体験した震度7の揺れが実際に起きた時の被害状況などを映像や写真で見せると、地震の怖さをより体感させることができます。
- 被災した児童が書いた震災に関する作文を読ませてもよいでしょう。

家庭への持ち帰り

- 起震車での体験を持ち帰り、我が家で地震が発生したらどうなるか、家族と話し合うように指導しましょう。

参考資料

- 消防計画
- 学校防災の手引き
- 地域防災計画

予備知識 ～起震車の手配～

滋賀県には起震車が3台あり、その配備は以下の通りとなっています。

所有者	利用可能市町	配置場所
湖南広域消防局	草津市、守山市、栗東市、野洲市	中消防署（栗東市小柿三丁目）
湖北地域消防本部	長浜市、米原市	長浜消防署（長浜市平方町）
滋賀県	上記以外	県消防学校（東近江市神郷町）

起震車の予約については、近くの消防本部（署）で受付をしていますので、お問い合わせください。

<注意>

- 近年は、起震車の貸出希望が県内から多数寄せられていますので、計画的な予約が必要です。
- 起震車は連続稼働していると急に動かなくなったり、暑くて乗れなくなったりする可能性もありますので、急に乗れなくなった場合の代替案も考えておきましょう。

「何もできない」が約4割

阪神・淡路大震災における人々の行動についてアンケートをしたところ、「何もできなかった」と答えた人が39.5%にのぼっています。人は恐怖感を抱くと、とっさに身動きがとれなくなります。地震が発生しても慌てないために、いざという時、どうしたらいいかを家族や学校で話し合っておきましょう。

（参考：『阪神・淡路大震災における消防活動の記録』神戸市消防局編）